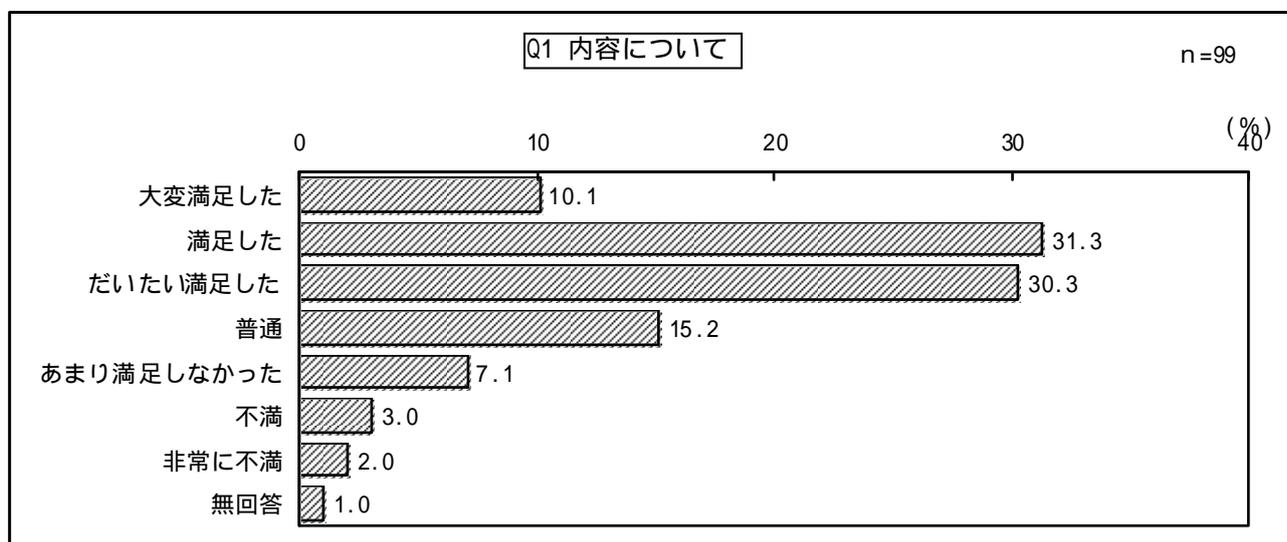


「原子力委員会 市民参加懇談会 in 富山」についてのアンケート結果

1. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 富山」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に 印をお付け下さい。



その理由について

< 1 > 大変満足した

いろんな方面、視点からのご意見を聞くことができ、大変参考になった。(女性・40～50代)
実際に原子力施設を抱えた地区において、地震等の災害を受けた場合の生々しい実情をきくことができた。(男性・40～50代)

- ・活発な議論が交わされた。
- ・柏崎刈羽の生の声が聞けた。(男性・20～30代)

刈羽、柏崎の方の体験を生で聞くことが出来、大変よかった。(男性・40～50代)

今まで生の声をあまり聞けなかったため。(性別不明・60代以上)

刈羽、柏崎の生の声や反省、考察が大変内容の濃いお話を聞け、満足しました。他県の事ではなく、いつ自分の身に起きても対処できるだけの知識を持ちたいと考えようになりました。(女性・40～50代)

これまで情報として得ることができなかった刈羽村の声を聞くことができた。富山県民の危機感が大変うすいことがとても危険だと思った。知らない原発事情を沢山知ることができました。(女性・60代以上)

地元の思い、意見が聞けた。(男性・40～50代)

本音の議論がされていた。(男性・40～50代)

< 2 > 満足した

二部の意見交換でもっと沢山人からの意見を聞きたかった。(時間配分は適当であったが)

(女性・20～30代)

地震の経験者、事業者、地元の方など、各々の立場の関係者の意見を聞くことができた。

(男性・20～30代)

原子力に関して認識不足があり、マスコミ情報だけで、危険なことしか考えなかった。

(女性・60代以上)

情報についての意見が聞かれました。(性別不明・60代以上)

防災にかかわる者として、いろいろ参考になった。(男性・40～50代)

実際に体験した話を多く聞くことができた。また、これに基づく意見が参考になった。

(男性・40～50代)

原子力はただ怖いとの思いが強かったが、専門家の話を聞いて少しわかりました。

(女性・60代以上)

不信をもっていた事に対し、わかりやすい説明があり安心した。(女性・60代以上)

柏崎原発の地震後の対応のやり方が良く理解出来た。(男性・40～50代)

一般論でなく、現地、現場の話が聞けたこと。(男性・60代以上)

・いろいろな方の話が直に、一般の人に判りやすく聞ける機会があまりないから。

・意見交換では、他の方の意見があり、原子力についての考え方がいろいろあることを知った。(女性・20～30代)

普段、原子力発電について考える事もなかったのですが、この機会に考えてみたいと思います。

(女性・60代以上)

1. 相対する立場の方々から、生の意見が聞けた。

2. 原発の影響は、立地県だけの課題ではない。空白県ではあるが両原発には含まれた富山県で開催された意義は強い。(男性・60代以上)

得られる情報が多かった。(男性・40～50代)

中越沖地震につての生々しいお話をお聞きしたこと。そして、また、災害が起きた時のマスメディアのあり方も考えさせられてことなどが。(女性・40～50代)

原子力政策を進めたい側と、一般市民との考えの温度差が極めて大きい事が分かり、満足であった。又、原子力委員が全く当事者意識がないように感じた。(男性・40～50代)

・原発での状況を知ることができたから。

・多方面の意見を聞くことができた。(性別不明・40～50代)

地震発生当時の生々しい状況が聞けたのと、問題の所在がよくわかったため。

(性別不明・40～50代)

コアメンバーが良かった。(男性・40～50代)

< 3 > だいたい満足した

- 本日のテーマ「知りたい情報が届いていますか」については議論がなかった。もっと市民レベルで話があってもよかった。(女性・40～50代)
- 地震発生時の生の声を聞くことができた。(男性・40～50代)
- 第二部・質問者の大半が、原子力発電所設置に反対の意見を持つ方々であったので、中間層の方々の情報公開についての質問が出にくかったこと。(男性・40～50代)
- 原子力については、知らない事が多かった為。(女性・60代以上)
- 反対派にも意見を述べさせたこと。(男性・40～50代)
- 柏崎の地元の方の意見を聞いてよかった。(男性・40～50代)
- 時間が足りない。第一回、第二回、第三回とやってください。(男性・60代以上)
- 本日のお話を聞いて、内心安心した。(女性・60代以上)
- 富山にはあまり地震がないので安心していたのですが、いつどこも考える。(女性・60代以上)
- 地震体験の話が聞けたことは良かった。私達も体験談を参考に今後の防災意識を高めたい。(女性・40～50代)
- 生の声が聞け、参考になった。(男性・40～50代)
- 体験された話が聞いて良かった。(女性・20～30代)
- 風評被害の実態や、情報の受信者側の教育向上など。(男性・20～30代)
- 地元(刈羽村等)の人の声が聞けた。(男性・40～50代)
- 新潟県中越沖地震についての話をもっとからめてほしかった。(性別不明・20～30代)
- 放射線物質が人体にどれくらいの量で影響を及ぼすか知る事ができたから。(男性・20～30代)
- 懇談会ということで意見を述べることは重要だと思うが、一人の人が延々と意見を言っている感じがしたので、時間を区切るなりしてももう少し短くしてほしい。(女性・20～30代)

< 4 > ふつう

- 市民との対話活動は大事と思う。しかし、市民の声はほとんどは反原の活動家であったのは残念。(男性・40～50代)
- 原子力についての深い意味が理解できなかった。(男性・60代以上)
- 一部では、パネリストから十分な意見が出されていないような感じがしたが。(性別不明・40～50代)
- 話がかみあっていない。(パネリスト間)(質問者とパネリスト)(性別不明・20～30代)
- 一般からの意見を受け付ける時間が多少短いのではないかと思うから。(男性・40～50代)
- 数字等をたくさんあげていただいたのですが、頭に入ってこなかった。(女性・60代以上)

< 5 > あまり満足しなかった

- 原子力安全委員会と共催でやって欲しかった。(女性・60代以上)

一般の方からの質問は、反対派のパフォーマンスの場となった。(男性・40～50代)
少し難しい話が多く、市民参加懇談会だとは思いますが、誰にでもわかり易い説明がもっと欲しい。
(市民主体だから)(男性・20～30代)
第一部で、原子力推進派の意見ばかりの様と感じられた。反対派の意見に対し、回答が充分とは思えなかった。(男性・40～50代)
・一部の方に来てもらって実施するやり方には限界を感じる。
・興味を持っていない方々にいかに伝えるかが問題。(性別不明・20～30代)
富山で実施される意味が薄かったように思われます。(性別不明・40～50代)
せっかく富山で開かれたのに、その意義があまり感じられなかった。(女性・60代以上)

< 6 > 不満

聞きたい内容でない。内容がコントロールされている。話にならない。言い訳を聞いているだけ。(女性・40～50代)
意見を聞く時間が短いので。(男性・60代以上)
柏崎等の地元からの意見に原発に係る事項なく、無意味だった。尤も、原発事故が発生していないのでやむを得ないが。また、風評被害の問題が発言されたが、原発によるものでなく地震によるもので、あたかも原発が原因であるかの如く宣伝されたのは残念。(男性・60代以上)

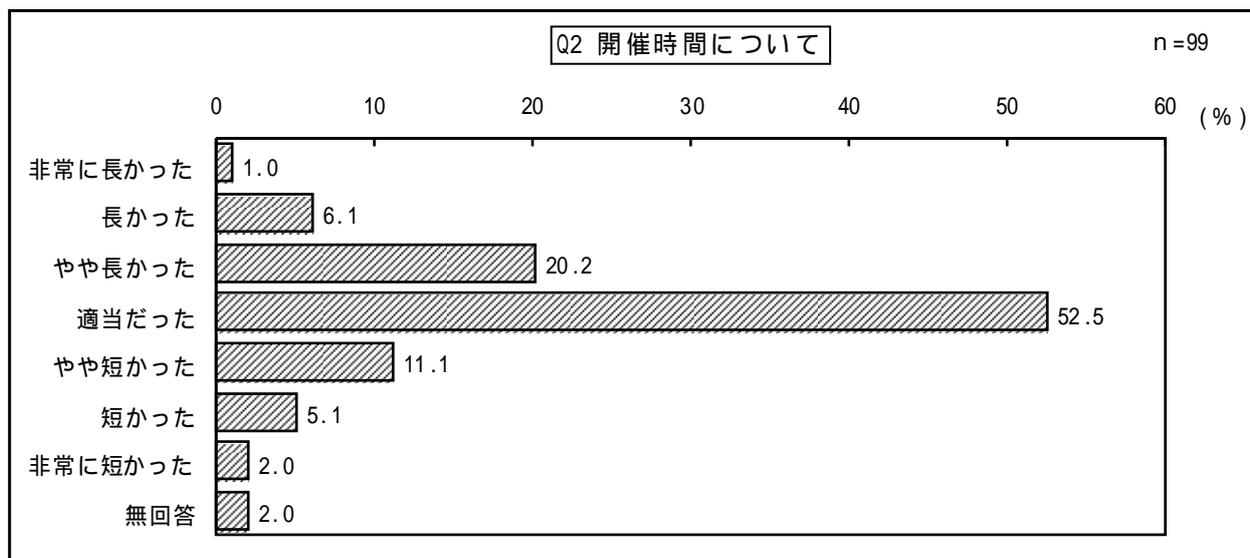
< 7 > 非常に不満

・開催日時が「週日昼過ぎ」という設定では、本当の多くの人に参加して欲しいのか疑問。
・第一部のパネラーが偏っている。(もっと反対や批判的な立場の人も入れるべき。)
(男性・40～50代)
パネリストの説明があまりにも乱暴だった。(男性・40～50代)

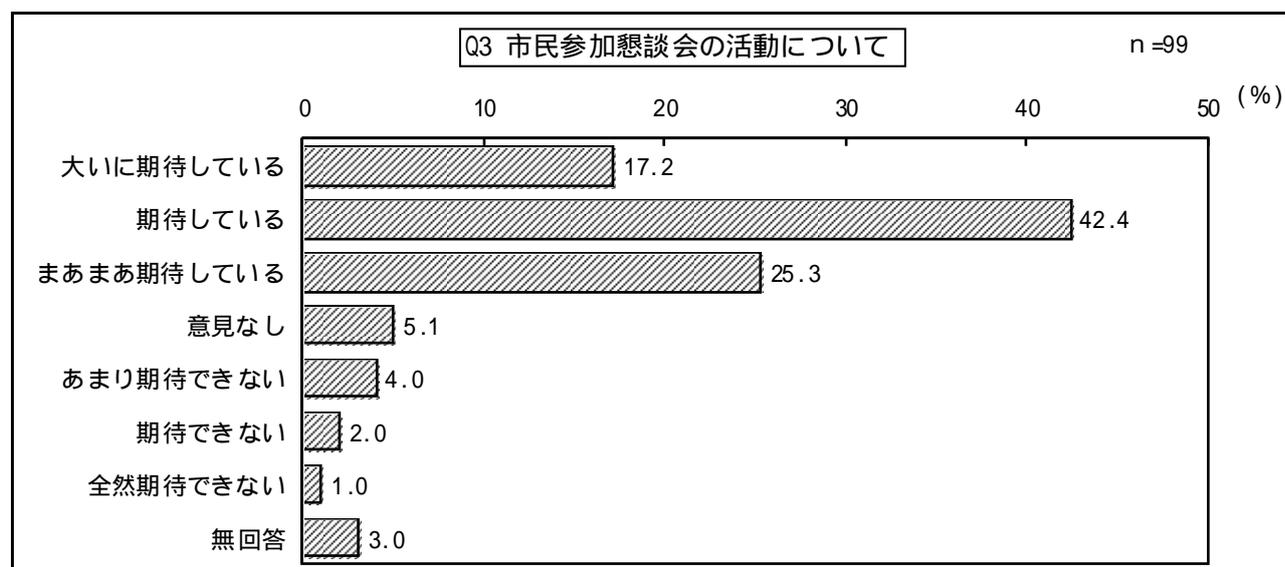
< 8 > 無回答

風評被害対策として、防災教育とともに、エネルギー教育が重要であることが理解出来たが、原子力災害の被害想定をどの様に考えているかを説明すべきだったと思う。
(男性・40～50代)

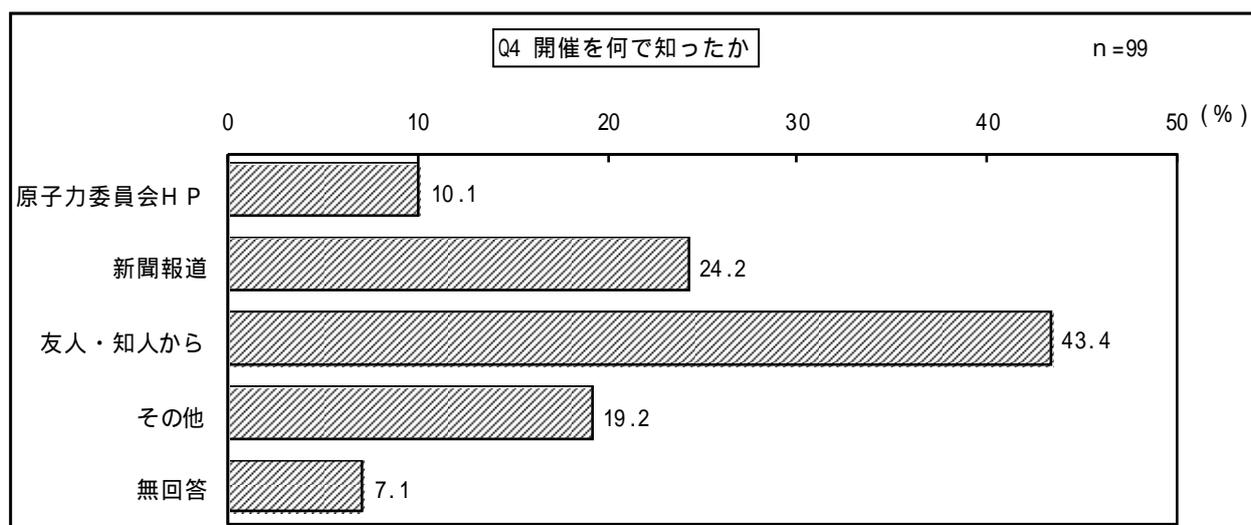
2. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 富山」の開催時間（3時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付け下さい。



4. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 富山」の開催を何でお知りになりましたか。



< その他への記述 >

団体からの情報
チラシ

その他 HP
ラジオ

大学の教授から
県庁（行政）からの通知

5. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 富山」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

< 市民参加懇談会について >

暴走事故の実際の規模は？ 措置法は自治体の求めで、というのは無責任です。

(女性・60代以上)

今回は、発表者が時機を待っていたかのように発言された。普通、この種の会が足りないこともある。(女性・40～50代)

一般市民の声が聞きたかった。(男性・40～50代)

・反対派が持論を展開するための場ではないと思う。(推進派もだが)

・パネリストが、質問者の方を向いて回答できるようにしたほうがいい。(女性・20～30代)

アクシデント・トラブル発生した時の対応にびっくりしました。今回は、幸い被害が少なかったが、大事故になる可能性は大です。最悪の状況を想定すべきだと思う。平和ボケもいいところです。(女性・40～50代)

新潟県に原子力施設があるというだけで、観光協会受ける風評被害は大きなものがある。大変だと思った。(男性・40～50代)

意見が反対に偏っているのでは？(男性・40～50代)

市民の意見で、説明が長すぎたり、的を得ていないものが多い。(男性・20～30代)

受信する者の知識を持つことの重大さを学んだ。自分は、マスコミの風評を信じる愚かさを反省。隠さないで公開して欲しい。(女性・60代以上)

パネリストの方々の知識の豊かさにおどろいた。(男性・40～50代)

活断層について。(男性・60代以上)

絶対安全ということはないと考えた。長い歴史の一面が出た感じです。(男性・60代以上)

今後の原子力安全対策の方向付けが見えたような気がする。(性別不明・60代以上)

原子力については何も知らなかった。少し分かりました。安全性を考えていただきたい。

(女性・60代以上)

懇談会ではなく、反対派の公開講演の場のようにあり、原子力委員会の意志が弱く、他人事のような話しぶりが気になった。(女性・40～50代)

原子力について少し理解したつもりですが、やはり恐ろしい事には間違いないと思う。報道は大げさになるのは当たり前と思う。(女性・60代以上)

もちろん、安全面等の情報は大切だと思われるが、国民、市民は起きた事の実態・場所が早く知りたいと思っている。(男性・20～30代)

風評被害対策としては、原子力の安全対策を正確に理解すべき。行政と事業者は、その安全性を科学的に、わかりやすく説明する事が必要。(男性・40～50代)

風評被害への対応。地震発生時の非難、情報提供の方法、原発立地、周辺市町村での標記懇談会の開催を望む。(男性・60代以上)

いろいろな問題点があることがわかった。(女性・60代以上)

風評被害について、学校教育が大事と感じたが、社会人(市民)にも必要と感じた。

(男性・40～50代)

市民の質問時間が長すぎると思う。(一人当たり)もっと多くの人の意見とするべきかと。

(男性・20～30代)

防災について、もっと勉強してみたいと思いました。(女性・60代以上)

・地震があったときの状況が生々しかった。

・原子力発電所からの連絡が遅かったということがあったが、迅速に対応できるよう、改善して欲しい。

・更なる情報公開に努めて欲しい。(女性・20～30代)

市民参加懇談会と言うのだから、市民の意見の時間が短くて残念。(女性・60代以上)

質問者の意見が偏っていると感じた。(反対派)(性別不明・40～50代)

体験から、家族、地域の不安や安全の確認は、まず身近なところから始まり、徐々に正確な情報で知って行くという、それが現実だと思うので、やはり情報は早く、正確に、広く。いつどこで発生するかわからない災害。通信、交通の手段の無くなる事もしっかり考慮して、備えや準備も大切な事と気付きました。(女性・60代以上)

なぜか遠い話としてしか受け止められなかった。自分の知りたいという思いにならなかった。

(女性・60代以上)

ニュースなどで聞いた柏崎刈羽原子力発電所の状態と、東京電力の調査結果との違いが多くあり、興味をひかれた。(性別不明・20～30代)

もっと原子力の詳細(影響や脅威他)を知りたかった。(男性・20～30代)

情報を発信する側より受信する側の教育が大切であるという意見。定期安全点検の徹底を信じたい。(性別不明・60代以上)

風評に惑わされてはいけない。(女性・60代以上)

様々なとらえ方があるんだと思いました。(女性・20～30代)

1. 風評被害の定説を垣間見ることができたこと。

2. マスコミの報道のあり様に責任があること。(男性・60代以上)

善い御意見を書きとめるためのテーブルが欲しい。そういう会場を選んで欲しい。

(性別不明・60代以上)

質問の方に「今回は幸にも事故に至らなかった」との発言がありましたが、許し難い。これは安全管理の成果なのです。「幸にも」で評価されては安全管理は無意味。(男性・60代以上)

原子力委員会と安全委員会があること。認識新た。質問者の的外れがちょっとね。進行係はとてもよかった。(女性・60代以上)

内藤さんの御意見で、マスメディアの情報の出し方について、非常に具体的に指摘された事によって、私達にとっても、風評被害というのはそうして作られるものだとつくづく感じました。また、田中先生のご発言で、情報受信者の教育が重要だと感じました。子供たちの教育も勿論大切だが、一般の人々にももっと原子力に関する教育が必要なのではないかと思います。

(女性・40~50代)

地震の際、取材ヘリが原発上空を飛んだ飛ばないの事実関係について、東電が経産省に報告したのに(上空を飛んでいると)保安院が今日までその事を理解していないという事に対して、問題であると感じた。(男性・40~50代)

反対派の意見が集中しており、より公平な議事運営が必要。(年代不明・40~50代)

原子力は安全なものではないが、その利用管理にて安全性を追求しながらエネルギー利用していく。(年代不明・40~50代)

原子力委と安全委の違いを、先にもっと理解させるべきではなからうか。(男性・40~50代)

より多くの都市で開いてほしい。(女性・20~30代)

マスコミによる風評被害をどう対処するのか、田中さん(中学校教師)の学校教育の大切さが理解された。(男性・60代以上)

今の科学での地震の予知、活断層の動き等の予知に対して、まだまだ未知の世界ですね。でもクリーンエネルギーとしての原発は絶対必要。(男性・60代以上)

今後の原子力問題で、国や事業者側の情報の発信の悪さばかりを追及するのではなく、受け留める側の教育の在り方の必要性が大事になっていることが認識されたこと。

(性別不明・40~50代)

もっとテーマにそった内容の議論を期待していました。情報の届け方、システム構築のことがすごく気になります。(性別不明・40~50代)

会場からの発言者が4名で、ひとり時間に時間をかけすぎでした。もっと多くの人からの意見を言わせて欲しかった。(私もそのひとりです)(女性・60代以上)

< 情報提供・収集のあり方について >

受信側の教育。(女性・60代)

地震発生時の上空からの原発の様子を写した映像を流して欲しかった。(男性・40~50代)

< エネルギー教育について >

原子力教育について：エネルギー事情、情報の受信など、社会認識における学校教育における役割の重要性。(女性・40～50代)

次世代のエネルギー教育をもっと推進する必要がある。(提供される情報を適正に判断するため)(性別不明・40～50代)

エネルギー事情に対する教育の有効性。(男性・40～50代)

- ・教育の話。
- ・マスコミの話。(性別不明・20～30代)
- ・教育が大事。
- ・話の順番を考えて、聞き手に分かりやすいようにお願いします。
- ・要点を分かりやすく説明して欲しい。(男性・40～50代)

風評被害を生まないために、しっかりしたエネルギー教育を受け、情報を賢く受けられるようになるべきだという考え方に共感いたします。マスコミの方々にこそ聞いて欲しいと切に思いました。意見を言うのは反対派。大多数の方は挙手・意見を述べるのをためらいます。延々と反対派の意見を聞かされうんざりしました。意見交換は一考を要すると思いました。

- ・地方への情報発信の必要性。(安心・安全)
- ・子供(中学)の時からエネルギー教育の必要性。
- ・司会者(進行)の方の進行が大変素晴らしいと思いました。(女性・60代以上)

エネルギー教育の問題については、国レベルの取組みが必要。力を入れていただき、実現してもらいたい。(男性・40～50代)

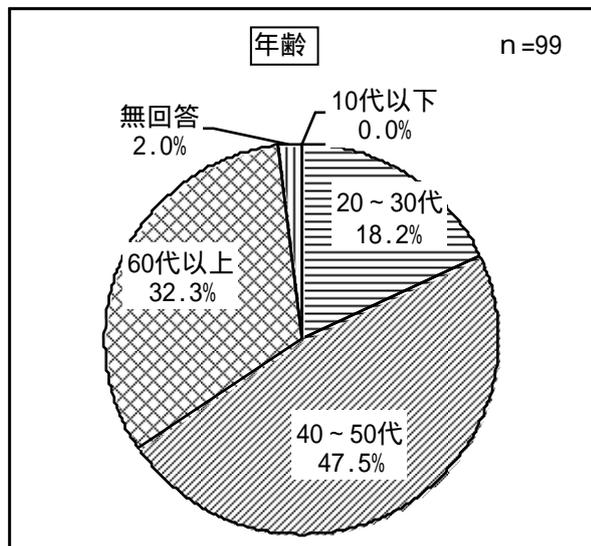
エネルギー教育のあり方、やり方の難しさ。(男性・40～50代)

< その他 >

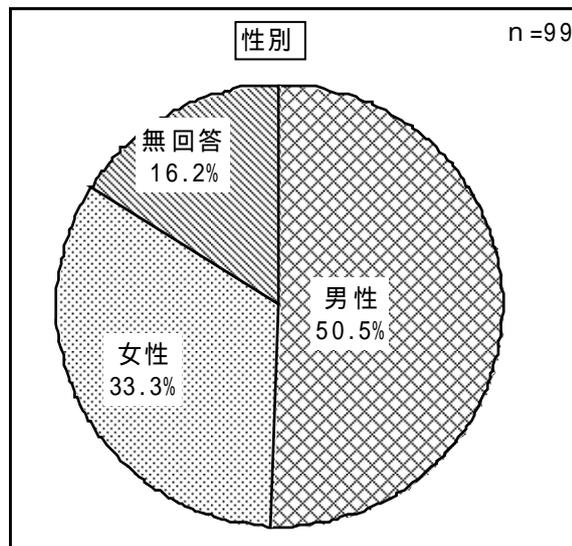
耐震計画について。(男性・40～50代)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以上